

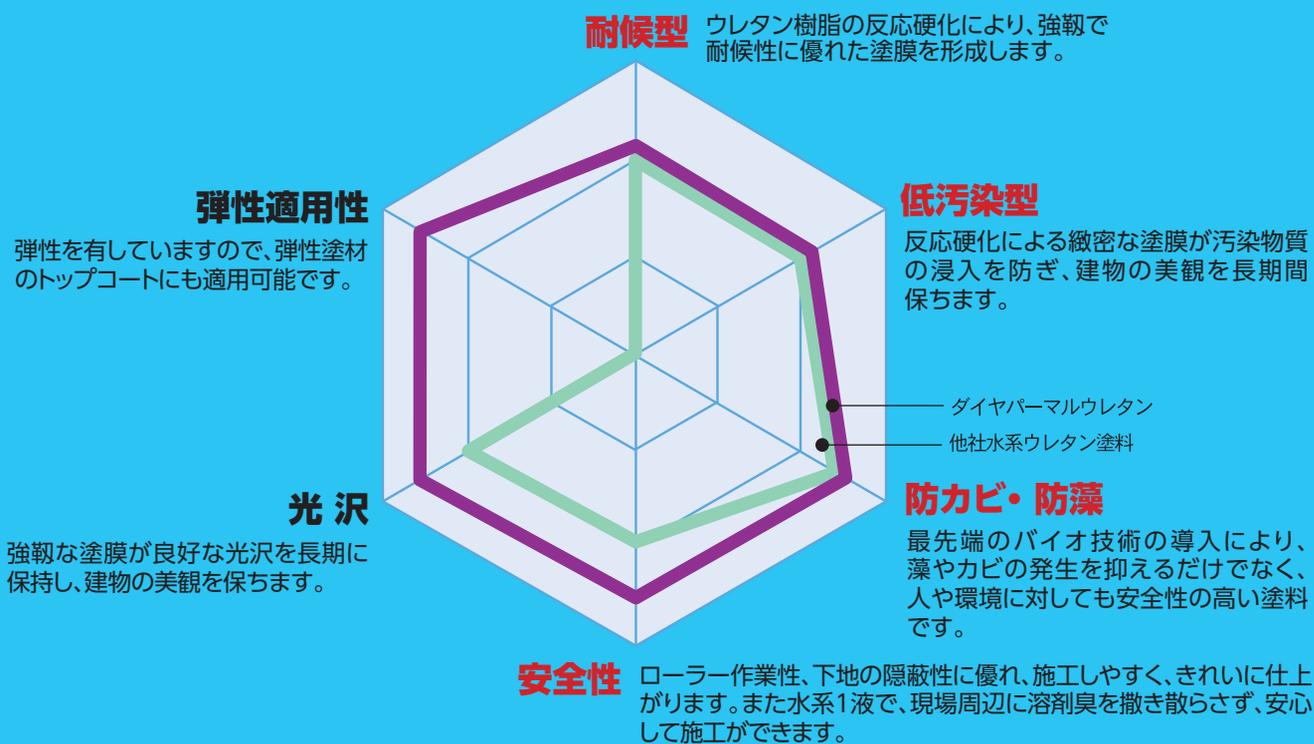
水系1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料

DIA

ダイヤ パーマルウレタン

F☆☆☆☆

環境にやさしく 水系最高水準のツヤを実現



用途

可とう形改修用仕上塗材の上塗材(吹付タイル、リシン、スタッコ塗膜面等の改装)
複層仕上塗材の上塗材、各種ボードの上塗材

包装単位

ダイヤパーマルウレタン 16kg缶
ダイヤワイドシーラー 15kg缶
ダイヤアクリスエポ 16kg缶
ダイヤアクリスフィラー 16kg缶

色相

標準色 45色(色見本帳ご参照下さい)
別途、指定色の調色も承ります。

標準施工工程

工程	材料名	割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	

●コンクリート、各種ボードの上塗り

下地調整		ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1	下塗り	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.10~0.2kg/m ² 75~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、中毛ローラー エアレス
2	上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水 刷毛・ローラー 清水 エアレス	16kg 0.5~1.5ℓ 1.0~2.0ℓ	0.2~0.3kg/m ² 53~80m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、中毛ローラー エアレス

●複層塗材の上塗材

下地調整		ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1	下塗り	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.10~0.15kg/m ² 100~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛、中毛ローラー エアレス
2	主材吹き	ダイヤエボンE(1液型)	20kg 0~0.4ℓ	1.3~1.5kg/m ² 13~15m ² /缶	1	—	24時間以上	タイルガン
3	凸部処理	主材吹き後、20分以内に硬質プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押える。(押さえ模様の場合のみ行います)						
4	上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水 刷毛・ローラー 清水 エアレス	16kg 0.5~1.5ℓ 1.0~2.0ℓ	0.25~0.30kg/m ² 53~64m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、ローラー エアレス

※下塗はダイヤワイドシーラーホワイトを用いることも出来ます。
※下地の吸い込みが著しい場合は下塗りを2回塗りして下さい。

●改装仕様～旧塗膜の塗替え①

下地調整		ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1	下地処理	ダイヤアクリスフィラー 中毛ローラー 清水 多孔質ローラー	16kg 1.0~1.3ℓ 0.5~0.8ℓ	0.3~0.5kg/m ² 0.8~1.0kg/m ²	1	—	16時間以上	中毛ローラー 多孔質ローラー
2	上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水 刷毛・ローラー 清水 エアレス	16kg 0.5~1.5ℓ 1.0~2.0ℓ	0.25~0.3kg/m ² 53~64m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、ローラー エアレス

※ 間隔時間は、標準状態(温度23℃、湿度50%RH)での時間を示します。
※ スタック面では、ダイヤアクリスフィラーの所要量は、0.4~0.5kg/m²(32~40m²/缶)となります。
ダイヤパーマルウレタンの所要量は、0.4~0.55kg/m²(32~40m²/缶)となります。

●改装仕様～旧塗膜の塗替え②

下地調整		ゴミ、油等の付着物は除去し、含水率10%以下(pH10以下)に管理して下さい。						
1	下地処理	ダイヤアクリスエポ 中毛ローラー 清水 多孔質ローラー	16kg 0.8~1.6ℓ 0.4~0.8ℓ	0.3~0.5kg/m ² 0.8~1.0kg/m ²	1	—	16時間以上	中毛ローラー 多孔質ローラー
2	上塗り	ダイヤパーマルウレタン 清水 刷毛・ローラー 清水 エアレス	16kg 0.5~1.5ℓ 1.0~2.0ℓ	0.25~0.35kg/m ² 46~64m ² /缶 0.3~0.35kg/m ² 46~53m ² /缶	2	2時間以上	—	刷毛、ローラー エアレス

施工・保管上の注意点

【塗面の調整(改修)】

- ① 剥離している腐、汚れ、油脂類、レタンス等を完全に除去して下さい。
- ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要となります。
- ③ 雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④ PCのベール、現場打ちコンクリートの場合
 - 1) 豆腐、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンチヤス#2000、セメンチヤス#2500、リマモル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑にしてください。
 - 2) 表面が緻密でレタンス層がある場合は、レタンスを除去し、ダイヤガンシーラー又は、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
- ⑤ ALCパネルの場合
 - 1) ダイヤカトンフィラーを塗布して下さい。

【塗面の調整(新設/改修共通)】

- ① 養生防水、目地排水等と水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ② 使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

【塗面の調整(改修)】

- ① 各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行なって下さい。
- ② 腐蝕層が薄い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③ チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- ④ 開始した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ⑤ 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

【施工】

- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は(雪)養生をして下さい。

- ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用してください。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③ 材料は付着乾燥しますと取れませんので、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時塗物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残りやすくなります。
- ④ 乾燥時間は、温度・湿度、おひき、風等により差異を生じます。
- ⑤ コップレサを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦ 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げてください。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- ⑧ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、塗面に残る場合があります。
- ⑨ 本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑩ 希釈する場合は、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合などは少なめに希釈して下さい。
- ⑪ 特に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑫ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑭ 塗布作業の意に沿って、塗布量が変わる場合があります。
- ⑮ フッ素や無機系などの接着塗膜処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄りの営業所へご相談下さい。
- ⑯ 使用時間及び塗布間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑰ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑱ 濃色や原色に近い場合、強くこすると色が取れる場合があります。
- ⑲ 下地の吸い込みによる色ムラが発生する場合があります。
- ⑳ シーラーと上塗りを混ぜるとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ㉑ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。

- ② 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗浄後にダイヤガンシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

【安全衛生上の注意】

- ① 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 - ② 取扱いは、手洗いや及びうがいを行って下さい。
 - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
 - ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑧ 中身を使い切った後から廃棄して下さい。
 - ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
 - ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ① その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
 - ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認ください。
 - ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート(SDS)をご確認ください。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

(24.4月現在) 24.04.100 SJ